

## オーディオ実験室収載

### アースアキュライザーの活用(3)(HP 収載) —Rogers CadetIIIと仮想アースの接続—

#### 1. 始めに

前報(2)に引き続き、やり残した機器について追加の検討を行っていきます。

#### 2. アースアキュライザーEA-1の試聴計画

今回は、サブシステムの機器を対象とします。

現在、AXIOM80を駆動しているのはプリメインアンプのRogers CadetIIIですが、ここには筐体のアース端子があります。

この筐体のアース端子と自作仮想アースをアースアキュライザーで接続してみます。

自作仮想アースは、アースアキュライザーの導入(16)で使用したものです。

音源は下記を使用します。

##### STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30番 31番 32番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

#### 3. アースアキュライザーEA-1の試聴結果

Rogers CadetIIIの筐体のアース端子と自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと、仮想アースなしの状態に比べて次のようになりました。

ベートーヴェンのピアノソナタは、自作仮想アースの接続なしでも、LANアキュライザー、Crystal EpL、フェルトダンプLAN端子などの効果で、アタック感とスケール感のある音を聴かせてくれていますが、自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと、アタック感とスケール感はそのままだに粗さが取れ、一音一音の分離が明瞭になり、メインシステムのFAL C90EXWに肉薄するようなレベルになります。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、自作仮想アースの接続なしでも、LANアキュライザー、Crystal EpL、フェルトダンプLAN端子などの効果で、切れ味の良いボウイングの様子が表現されていますが、自作仮想アースをアース

スアキュライザーで接続しますと、切れ味の良さを残しながら、少しばかり残っていた粗さが取れ、緻密な表情がでてきます。

リストのピアノ協奏曲 1 番は、自作仮想アースの接続なしでも、LAN アキュライザー、Crystal EpL、フェルトダンプ LAN 端子などの効果で、オーケストラのスケール感やピアノのアタック感が聴けますが、自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと、オーケストラの音の緻密さとピアノの打鍵のクリアな響きがでてきます。

#### 4. まとめ

Rogers Cadet III の筐体のアース端子と自作仮想アースをアースアキュライザーで接続することで顕著な効果を認めました。

以上